

数学

東京大学 (前期・文科) 1/1

<全体分析>

試験時間	100分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

解答形式

全問記述式

分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・変化なし・増加) 難易 (易化・変化なし・難化)

出題の特徴

今年は全て標準的な問題で受験生を手こずらせる問題はなかった。

その他トピックス

例年あるような難問がなく解き易かったと思う。これまでしっかり学習してきた諸君がしっかり得点できる問題であった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	微分・積分 2次関数	数学II 数学I	面積を求め比を1変数で表し微分する標準的問題。	標準
第2問	ベクトル	数学B	ベクトルを使えば自然に領域が求められる。	標準
第3問	確率	数学A	$y-x$ の変化のみに着目すれば容易。	やや易
第4問	整数 数列	数学A 数学B	数学的帰納法を用いた証明問題。最大公約数を求める部分が少し難しいか。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

標準的な問題学習をしっかり積み重ね、ミスなく処理できる力をつけることに尽きる。
ただ、例年だともう少し難しい問題も出題されるので難問にチャレンジする学習も欠かせない。